

統合望む声、8割超

再小学校
編校

住民アンケート結果まとまる



鳥茂渡小の児童数は現在8人。来年3月には5人が卒業し、3人になる予定です

村教育委員会では、減り続ける子どもたちの現実を重く見て、小学校の再編統合を検討していく資料とするため、全1071世帯を対象にアンケートを実施しました。アンケートは647世帯（60・4％）から回答をいただき、回答された8割以上の方が再編統合を望んでいることなど、貴重な資料が得られました。さらに同教委では、PTA関係者や有識者による「小学校再編統合検討委員会（金子智委員長、委員18人）」を設置。皆さまからのアンケート結果を中心にこれまでの経緯そして今後を含め、小学校再編統合を考えます。

期待できない児童の増加

村には現在4つの小学校があります。児童数は普代小学校が95人、堀内小学校が50人、鳥茂渡小学校が8人、黒崎小学校が16人（8月1日現在）全校合わせて169人と、すべてが小規模校といわれる学校です。

過去に小学校再編統合の話

題がなかったわけではありませんが、せん。しかし、それぞれの学校には一世紀以上の歴史と伝統があり、地域の中心的存在として今を迎えています。小学校の再編統合は「教育問題」とすると同時に、「地域問題」であるという側面を持っています。



7月24日、役場で開かれた「小学校再編統合検討委員会」

しかし、村でも人口の減少、少子化が予想を上回る勢いで進行し、現在、児童数の増加を期待できない状況です。普代小学校を除く他の学校は複式学級が増え、事態は極めて深刻です。

平成18年3月、村議会定例会の村長所信表明で深渡宏村長が「小学校の再編統合の検討が必要」と初めて表明。この所信表明を受け、村教育委員会では村民の皆さんの考えをできるだけ反映させた再編統合のあり方を検討していくために、その第一段階として今回のアンケートを実施しました。